



ポスターを理解するためのポイント

①～③のポイントについて解説します。

① 小さなアイディアから生まれる、大きな発明。

「発明」や「特許」と言うと、自分たちの生活とはかけ離れたものというイメージを持つ人も多いでしょう。しかしどんなに偉大な発明も、最初は発明家が抱いたアイディアから出発することが多いのです。暮らしのなかで感じる不便や「あったらいいな」というちょっとした気持ちが発明の源なのです。ポスター表面では、そうした小さな工夫から生まれたユニークなグッズを紹介しました。どの商品も、便利なだけでなく誰にでも使いやすい「ユニバーサルデザイン」で、リサイクルのしやすさなどで環境にも配慮している点がポイントです。人们も地球にもやさしいモノを使いたい。そんな思いから、また新たな発明品が生まれてくるかもしれません。

② 新しいアイディアを守る「知的財産権制度」。

苦労して考えたアイディアや、それを活用することで生まれる利益を、法律によって守るのが知的財産権制度です。「知的財産権」とは、技術などに関する「産業財産権」と文学などに関する「著作権等」の総称で、保護する対象別にさらに細かい権利が設けられています。こうした制度のおかげで発明者は安心して新たな創作活動に取り組み、私たちがその成果を普段の生活のなかで利用することができます。発明が身近なものであるように、知的財産権制度も暮らしのさまざまな場面に関わる大切なみなのです。

はっぴょん通信 考えよう！知的財産 Vol.5
日本弁理士会
TEL:03-3219-2500㈹ FAX:03-3201-0988

*カドケシ
「えっ？これが消しゴム？」
かっこ消す消しやすい
たったからドキたぐん
つくばい、といふ。
普通の消しゴムよりも軽く、小さな文字などを消すときに不要
を減らせるのが特徴ですが、カットソフの消しゴムのかきりあるため、使い続けても次々割
りかかるが見えるようになります。大変便利です。

*取っ手付きチューブファイル
店舗アイテムを見ながらおしゃべりで楽しむ。
「取り出しますよ！」遊びますよ！や、
直感的にわかるデザインがポイント。

チーファイルは本の取扱いが難しく、特に
子供の手に渡すところから、取り出しが
のめがちでした。そこで、持物に直接入れられる
を新たにつけて、取り出しだけにその穴に指を引
っかけて、簡単に取り出しができます。

アイディアが商品になるためには
様々な人の努力が必要なんだ。

*ブニョブニョピン
「手や肩に付着すると痛い」
「肩の重い女性たち」という
課題から浮かんだアイデア。
ターミンガモとも大切。

針の先がブニョブニョかれててい
るため、針が肌に刺れにくく、落としても
折れても刺さない完全な構造になっています。他の外付けは、ブレスレットの部分
をつぶんで刺さないようにされています。

>>さっそくアクセスして、もっと調べてみよう！ <http://www.jpaa.or.jp/tanteidan/index.html>

③ 産業財産権を通じて社会を支える「弁理士」。

産業財産権（特許権、実用新案権、意匠権、商標権）は特許庁が管理するもので、出願・審査・登録という手続きを経て初めて権利として認められる決まりになっています。産業財産権は主に新しい技術を扱うため、手続きには法律と技術に関する専門知識が必要です。このようにアイディアを権利にする過程で、専門的な見地からアドバイスしたり、手続きを代行したりするのが弁理士の主な仕事です。弁理士は、研究者や企業の権利を守ることにより新たな技術の普及を促し、私たちの社会の発展をも支えているといえます。

1 ※このページをコピーしてお使いください。